



日本赤十字社

第 67 回定期総会資料

表 彰

議 事

【第一号議案】 令和元年度事業経過報告・決算報告
令和元年度監査報告

【第二号議案】 令和 2 年度事業計画・予算案

日本赤十字社診療放射線技師会

表 彰

会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会

会 長 安彦 茂

表彰委員長 中山 進

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

令和 2 年功労書被表彰者

(表彰規程第 2 条の 1)

釧路赤十字病院	相山 幸紀
仙台赤十字病院	横山 高広
足利赤十字病院	久保田健夫
深谷赤十字病院	笠井 久幸
日本赤十字社医療センター	竹内 宏
大森赤十字病院	樋口 新一
長岡赤十字病院	鈴木 光男
長野赤十字病院	大塚 亨
名古屋第一赤十字病院	大滝 司
名古屋第二赤十字病院	亀谷 健一
大津赤十字病院	森田 光正
大津赤十字志賀病院	猪飼 正夫
京都第一赤十字病院	福田 勤也
京都第二赤十字病院	河本 勲則
鳥取赤十字病院	池原 準
松江赤十字病院	磯田 康範
益田赤十字病院	増野 利政
岡山赤十字病院	有森 秀夫
広島赤十字・原爆病院	田中 久善
高松赤十字病院	安部 一成
松山赤十字病院	水口 司
松山赤十字病院	池本 俊成
松山赤十字病院	久 武

(敬称略、順不同)

令和 2 年奨励賞被表彰者および被表彰施設

(表彰規程第 2 条の 2)

個人表彰の部

深 谷 赤 十 字 病 院	高柳 幸恵
武蔵野 赤 十 字 病 院	小川 亮
日本赤十字社和歌山医療センター	石原 佳知

(敬称略、順不同)

施設表彰の部

該当なし

令和 2 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業

(表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

【第一号議案】令和元年度事業経過報告

総括

元号が平成から令和に変わった 2019 年度は、厚生労働省が 9 月に市町村などが運営する公立病院と日本赤十字社などが運営する公的病院の 25%超にあたる全国 424 の病院について「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ、病院名を公表した。赤十字病院が 24 施設含まれており、今後各都道府県の地域医療計画の中で検討し対応するよう求められるだろう。また、赤十字全体の決算がここ数年赤字状態であり、早急に地域の医療情勢を分析した上でより一層の経営改善の取り組みが必要となっている。2019 年の年末に中国で発生し爆発的に感染拡大をした新型コロナウイルスは、現在日本国内での発生はある程度抑えられているが、特に欧米で発生数が急速に拡大しているため、WHO がパンデミックの宣言をした。国内でもクラスターが各地で発生しており、全く予断の許さない状況が続いている。この感染は長期化することが予想されていることと、通常診療で来院する患者の中にも感染者がいる可能性があることから、我々診療放射線技師は新型コロナウイルス対応時以外の通常撮影においても、スタンダード・プリコーションを行うように求められている。

この様な厳しい医療情勢ではあるが、本会では 5 月 31 日（金）5 月 1 日（土）に東京国際フォーラムでメインテーマを「被ばく低減」とした学術総会を開催した他、例年同様、全国 7 ブロックで研修会が開催された。その他、治療専門部の研修会開催、ホームページを利用した活動等を実施した。また、2020 年度に大阪で開催を予定している学術総会に向け、視察を兼ねて常務理事会を学術総会開催予定の会場で開催した。

各ブロック研修会では、災害支援部が「国際・国内・原子力災害について」をテーマにして講演を行った。また、組織調査部ではベンチマーク調査についてのアンケートを実施し報告を行った。その他、チーム医療について学術総会で各施設の紹介を報告した他、第 55 回日赤医学会総会本社企画「チーム医療推進」実践報告において、本会から推薦を受けた高山赤十字病院が診療放射線技師のチーム医療への取り組みを発表した。また、専門部では、治療専門部が研修会を開催した。

本会では日赤のスケールメリットを生かした取り組みの一つとして、本社医療支援部と協働で放射線機器の共同購入に対し協力してきた。本社では、今年度よりより一層スケールメリットが得られるように、放射線機器の共同購入を国立病院機構、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）、労働者健康安全機構（労災病院）がグループで実施している共同入札に令和 2 年度入札分から加わることになったが、本会からアドバイザーという形で継続して協力を行った。

各部の活動については各担当より説明させていただくこととするが、例年より本会の活動にご支援をいただいている日本赤十字本社、物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し、2019 年度の総括とする。

平成 31・令和元年度 会長・副会長行動録

会 長 安 彦 茂

平成 31 年 4 月 5 日

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本赤十字社 本社)

平成 31 年 4 月 12・13 日

第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会

平成 31 年 4 月 17 日

日本赤十字社医学会評議委員会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 5 月 31 日

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 6 月 20 日

令和元年度第 1 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 7 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (ホテルメルパレク大阪)

令和元年 9 月 7・8 日

第 10 回中部ブロック業務研修会 (静岡赤十字病院)

令和元年 9 月 14・15・16 日

第 35 回日本診療放射線技師会学術大会 (さいたま市)

令和元年 9 月 28 日

東北ブロック業務研修会 (盛岡赤十字病院)

令和元年 10 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 10 月 17・18 日

日本赤十字社医学会総会 (広島市)

令和元年 11 月 2・3 日

第 9 回中四国ブロック業務研修会 (高知赤十字病院)

令和元年 11 月 6 日

大型医療機器の共同入札にかかる説明会 (国立病院機構本部)

令和元年 11 月 9・10 日

第 32 回東部ブロック業務研修会 (足利赤十字病院)

令和元年 11 月 15 日

令和元年度第 2 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 11 月 16 日

第 6 回中部ブロック技師長・責任者会議 (名古屋第二赤十字病院)

令和元年 12 月 9 日

大型医療機器の共同入札にかかる共同入札検討会 (国立病院機構本部)

令和 2 年 1 月 11・12 日

第 20 回九州ブロック業務研修会 (日本赤十字社熊本健康管理センター)

令和 2 年 2 月 1・2 日

第 28 回近畿ブロック業務研修会 (神戸赤十字病院・ホテル北野プラザ六甲荘)

副会長 正者 智昭

平成 31 年 4 月 5 日

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 5 月 31 日

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 7 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (メルパルク大阪)

令和元年 10 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 11 月 6 日

令和 2 年度医療機器共同入札製品説明会 (国立病院機構本部)

令和元年 12 月 9 日

令和 2 年度医療機器共同入札検討会 (国立病院機構本部)

令和 2 年 1 月 31 日

災害医療支援部会 (兵庫県災害医療センター)

令和 2 年 2 月 1・2 日

第 28 回近畿ブロック業務研修会 (神戸赤十字病院・ホテル北野プラザ六甲荘)

令和 2 年 2 月 7 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会 (日本赤十字社 本社)

副会長 竹安 直行

平成 31 年 4 月 5 日 (金)

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本診療放射線技師会)

令和元年 5 月 31 日 (金)～6 月 1 日 (土)

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 7 月 5 日 (金)

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 10 月 5 日 (土)

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 11 月 9 日 (土)～10 日 (日)

第 32 回東部ブロック業務研修会 (足利赤十字病院)

令和元年 11 月 16 日（土）

診療放射線技師養成機関・職能団体との懇親会について

主催；日本診療放射線技師会（日本赤十字社診療放射線技師会事務所）

令和 2 年 1 月 25 日（土）

放射線治療部会研修会（日本赤十字社医療センター）

令和 2 年 2 月 7 日（金）

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会（日本赤十字社 本社）

副会長 荒井 一正

平成 31 年 4 月 5 日

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会（日本赤十字社 本社）

令和元年 5 月 28 日

第1回チーム医療の推進に関するガイドライン検討WG（日本赤十字社 本社）

令和元年 5 月 31 日

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会（東京国際フォーラム）

令和元年 7 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会（ホテルメルパルク大阪）

令和元年 10 月 1 日

第2回チーム医療の推進に関するガイドライン検討WG（日本赤十字社 本社）

令和元年 10 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会（深谷赤十字病院）

令和元年 11 月 16 日

診療放射線技師養成機関・職能団体との懇親会について

主催；日本診療放射線技師会（日本赤十字社診療放射線技師会事務所）

令和 2 年 2 月 7 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会（日本赤十字社 本社）

令和 2 年 3 月 10 日

第 3 回チーム医療の推進に関するガイドライン検討 WG（日本赤十字社 本社）

令和元年度

各部事業経過報告

1. 総務部活動報告

(1) 第 66 回日本赤十字社診療放射線技師会定期総会の開催

令和元年 5 月 31 日（金）15：50～17：00 の日時で、第 66 回定期総会を東京国際フォーラム D-5 ホールにて開催した。

安彦会長挨拶の後、表彰式が委員長の中山理事により執り行われ、功労賞 29 名、奨励賞 2 名、施設奨励賞 4 施設がそれぞれ表彰された。

※功労賞被表彰者 29 名

(順不同、敬称略)

(旭 川) 東堂 剛三	(栗 山) 大野 修	(石 巻) 嶋田 雅博
(水 戸) 山縣 徳治	(芳 賀) 武藤 美子	(足 利) 中里 明
(さいたま) 市川 誠二	(小 川) 小林 教浩	(みなと) 宮沢 明
(長 岡) 入澤 佳弘	(長 岡) 田村 博文	(長 岡) 地崎 純一
(安曇野) 茅野 充治	(下伊那) 伊藤 保	(高 山) 中田 幸博
(名 一) 筒井 倫雄	(名 一) 大西 勝治	(名 二) 黒木 荘八
(伊 勢) 中野 和彦	(長 浜) 橋本 清和	(京 二) 木村 嘉則
(鳥 取) 磯見 正美	(松 江) 岡 俊一	(岡 山) 梶谷 努
(高 松) 高橋 徹	(高 松) 安部 淳子	(唐 津) 平田 一英
(熊 本) 濱田 勝徳	(熊 本) 耕 仁征	

※奨励賞被表彰者 2 名

(石 巻) 及川 林 (神 戸) 小川 宗久

※奨励賞被表彰施設 4 施設

○石巻赤十字病院 ○高山赤十字病院 ○日本赤十字社和歌山医療センター
○広島赤十字・原爆病院

その後、定期総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の大竹理事よりなされ、出席者 139 名、委任状提出者 1,373 名、合計 1,512 名を得ており定期総会が成立することを確認した。

議事を進めるにあたって姫路赤十字病院 井手 充浩 氏、高槻赤十字病院 松原 健夫 氏。そして議事録署名人に、秋田赤十字病院 三浦 司 氏、福島赤十字病院 海藤 隆紀 氏が会場より選出された。議事は平成 30 年度事業経過報告、平成 30 年度決算報告、平成 30 年度監査報告、そして平成 31 年度事業計画案、平成 31 年度予算計画案、およびその他について全てを審議し承認決議された。

これらの詳細は、第 66 回定期総会議事録としてホームページに掲載した。

(2) 平成 31 年学術定期総会収支報告

収支報告を第二号議案である平成 31 年度決算報告の特別会計として記載。

(3) 常任理事会、理事会の開催及び議事録の作成

常任理事会を 3 回および理事会を 1 回、下記のとおりを開催した。検討事項及び提案事項について審議決議し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

○ 第 1 回常任理事会

令和元年 7 月 5 日（金）13：00～16：00 メルパルク大阪 6F 高砂

○ 第 2 回常任理事会

令和元年 10 月 5 日（金）13：00～17：00 深谷赤十字病院 301 会議室

○ 第 3 回常任理事会

令和 2 年 2 月 7 日（金）13：00～17：00 日赤十字社 本社 202 会議室理事会

○ 理事会

令和 2 年 4 月 3 日（金）13：00～17：00 日赤十字社 本社 101 会議室理事会

(4) 医療安全対策部会

本社医療事業部医療安全課管轄の医療安全対策部会に本会の尾形理事が出席し、医療安全推進について協議また検討を行った。

○ 第 1 回医療安全対策部会

令和元年 6 月 21 日（金）15：00～17：30 日赤十字社 本社

○ 第 2 回医療安全対策部会

令和元年 12 月 11 日（水）15：00～17：30 日赤十字社 本社

2. 会員動向（令和 2 年 1 月 10 日現在）

会員数 1535 名（新入会予定者含む）

新入会会員数 73 名

退会会員数 52 名

非会員数 47 名

組織率 97.2%

3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づいて電報を送った。（順不同、敬称略）

○ 結婚式祝電 7 名

（大分）日野 雄介 （松江）岩田 幸子 （成田）森 慎吾

（大分）熊谷 誠 （大津）井本 剛志 （成田）小城 晶子

（大津）山極 航輝

○ 叙勲お祝い 1 名

（元古河）森 正三

○ 弔電 1 名

（名古屋第二）亀谷 健一

4. 学術部報告

令和元年 5 月 31 日（金）6 月 1 日（土）の 2 日間、令和元年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会を東京国際フォーラム ホール D-5 にて開催した。

主な内容は以下の通りである。

本社講演 「救護班活動において診療放射線技師に期待すること」

日本赤十字社 事業局 救護・福祉部参事監（災害対策） 赤十字原子力災害情報センター長
軽部 真和 先生

教育講演① 「厚生労働省が求める医療放射線の安全管理の実際」

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター

統括診療部放射線診療部 副診療放射線技師長 北村 秀秋 先生

教育講演② 「社会的争点となっている低線量影響について」

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 / 大学院看護学研究科 教授 小野 孝二 先生

学術講演「救急撮影時にも応用可能な肘関節 X 線撮影の攻略法

～これを知れば小児も救急も怖くない！～」

三菱神戸病院 画像技術科 主任 高井 夏樹 先生

チーム医療報告

①QC サークル活動・5S 活動

武蔵野赤十字病院 穴田 有

②ひとり何役？

伊豆赤十字病院 土田 真嗣

③CT/MRI 検査のトラブルを未然に防ぐ出前研修会 富山赤十字病院 大橋 英靖

会員研究発表

I-① 胃 X 線検査における当院での一次読影とその有用性について

大分赤十字病院 中島 浩二

I-② FPD システムにおける最適撮影線量の検討

深谷赤十字病院 登坂 崇史

I-③ 当院の一般撮影における線量評価 ～DRLs2015 との比較～

松山赤十字病院 中須賀 梨奈

I-④ 骨盤領域における散乱 X 線補正処理の検討

名古屋第一赤十字病院 中尾 由利子

I-⑤ マンモグラフィ 2 方向から陰影の部位を導くツールの検討

福井赤十字病院 田賀 陽子

II-⑥ 大動脈弓部領域における PSIR-REACT(PREACT)の有用性の検討

唐津赤十字病院 立川 圭彦

II-⑦ 上腹部領域 DWI の息止めによる撮像の検討

広島赤十字・原爆病院 宣長 待機

II-⑧ MRI 条件付き MRI 対応の体内用結紮クリップによる

MR 画像へのアーチファクトの検討

武蔵野赤十字病院 渡邊 光希

III-⑨ 骨シンチにおける投与量削減を目的とした基礎検討

松山赤十字病院 飯泉 賢人

III-⑩ 医学物理課新設後の放射線治療科部の運用に関して

日本赤十字社 和歌山医療センター 石原 佳知

III-⑪ 固体ファントムのスケーリング係数の算出

那須赤十字病院 中澤 佑介

5. 専門部報告

(1) 各専門部活動報告

1. 放射線治療専門部

- ①継続事業として会員 SNS 利用促進を図り、会員 SNS を利用した治療スタッフからの質問などの対応をおこなった。
- ②日本赤十字放射線技師会学術総会において放射線治療分野研究発表の座長選出をおこなった。
- ③日本赤十字放射線技師会学術総会へ出席し、会員との意見交換おこなった。
- ④放射線関連学会より出されたガイドライン等の情報を発信し、情報共有を図った。
- ⑤放射線障害防止法改正に係る放射線障害予防規程変更および代表者変更届などの手続きが円滑に行えるよう、本社担当者と連携し会員への情報提供をおこなった
- ⑥放射線治療における品質管理業務に関するアンケートを実施した。
- ⑦放射線治療における品質管理業務に関する研修会を実施した

日時：令和 2 年 1 月 25 日(土) 13:00~18:00

場所：日本赤十字社医療センター 3 階 講堂

参加者数：60 名（理事 2 名含む）

2. MRI 専門部

- ①今年度の活動として、昨年度に作成を行った頭部についての撮像プロトコルアンケートを、全施設に対して実施した。

実施方法としては、グーグルフォームを使用して作成したアンケートのリンクを、技師会 SNS と MRI 専門部の ML を通じて配信する形で行った。

ただし、現在の回答施設は 20 施設となっており、もう少し回答数を伸ばしたいと考えている。

3. 核医学専門部

- ①本赤十字社診療放射線技師会の会員専用 SNS にて、“医療法施行規則の一部を改正する省令の施行”の核医学関連事項（線量記録と線量管理）について情報提供を行った。

4. 乳房専門部

- ① 令和元年 6 月 23 日

「豊胸術後のリンパ腫について」を HP 掲載

5. CT 専門部

- ①今年度、CT 専門委員会の委員交代もありましたが、委員会としましてはメールを活用し、委員会メンバーで意見交換や情報共有をいたしました。

- ②交流会につきましては、3 月に関西にて開催の準備を致しましたところ、様々な問題もあり実現できませんでしたので 2 年度への継続目標にします。

- ③全国の CT 担当者ネットワークは、全国 CT 担当者メーリングリストを各施設の担当者様の協力により更新いたしました。今後アンケート等の協力でネットワーク強化を図れたかと考えています。

- ④専門部合同企画の資料（リードスペースメーカー等）を集約し提出いたしました。

6. 医療情報専門部

- ①システムマップのメンテナンス

- ②システムマップの持続的な情報更新の検討

- ③放射線量管理システムの運用等についての情報交換（世話人間）

- ④医療用放射線の安全管理に関する法令改正対応についての情報交換（世話人間）

- ⑤技師会内での情報交換、情報発信の方法についての意見交換

6. 災害医療支援部報告

(1) ブロック業務研修会での講演

- ①令和元年 9 月 7 日：中部ブロック（国際災害関係）
- ②令和元年 9 月 28 日：東北ブロック（国際災害関係）
- ③令和元年 10 月 5 日：北海道ブロック（国内災害関係）
- ④令和元年 11 月 02 日：中四国ブロック（国際災害関係）
- ⑤令和元年 11 月 09 日：東部ブロック（原子力災害関係）
- 令和 2 年 01 月 11 日：九州ブロック（国際災害関係）

(2) 災害医療支援部会議

本社講演：日本赤十字社 事業局 救護・福祉部 赤十字原子力災害情報センター
恩田 英治 参事

(3) その他 部員活動

- ①赤十字原子力アドバイザー会議出席（2 回）
- ②赤十字原子力災害対応基礎研修会 講師（4 回）
- ③原子力基礎研修会スライドの編集
- ④赤十字全国救護班研修 講師
- ⑤病院型 ERU 展開検証 参加

7. 広報部報告

(1) 電子会誌 11 号の作成

【会誌内容】

- ①特集テーマ：「AI の可能性」メーカー・8 題
- ②施設紹介 2 施設（高知、福島）
- ③被ばく低減認定施設（旭川）
- ④技師長最終年総括 2 題
- ⑤本会の動き
 - ・令和 1 年度 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会
 - ・令和 1 年度 日本赤十字社診療放射線技師会定期総会 議事録
 - ・各ブロック研修会報告
 - ・専門部活動報告

ホームページへの掲載は 4 月初旬予定

名誉会員への CDR 送付は 4 月中旬予定

8. IT 推進部報告

- (1) ホームページの管理運営
入会・退会・お問い合わせへの返信。
- (2) ホームページの変更および更新作業
会員 SNS のメーリングリスト整備。
会員 SNS の共有ホルダー整理。
画面構成の維持管理作業
- (3) メーリングリストの更新作業
施設代表者・専門部など
- (4) ホームページ登録会員数
登録会員数 1394 名
昨年度新規会員数 63 名
会員のホームページ登録率 91%

9. チーム医療部報告

- (1) 令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、下記のとおりチーム医療の活動報告をしていただいた。
 - ・武蔵野赤十字病院「QC サークル活動・5S 活動」 穴田有美氏
 - ・伊豆赤十字病院「ひとり何役？」 土田真嗣氏
 - ・富山赤十字病院「CT/MRI 検査のトラブルを未然に防ぐ出前研修会」 大橋英靖氏
- (2) 令和元年度第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会に、部会委員として荒井副会長が出席した。
開催日：令和元年 10 月 1 日（火）
会 場：日本赤十字社 403 会議室
- (3) 第 55 回日本赤十字社医学会総会（広島）にて、本社企画「チーム医療推進」実践報告において、パネリストとして発表していただいた。
実践報告：VTE 予防対策チームにおける診療放射線技師の役割
高山赤十字病院 今井丈晴氏
日時：令和元年 10 月 18 日（金）

10. 教育部報告

- (1) 平成 31 年 1 月に開催された第 1 回施設代表者会議に先立ち実施したアンケート結果を参考に、教育プログラム収集の協力を依頼した。現在も収集中であり、次年度も継続する。

11. 組織調査部報告

- (1) 平成 31 年度 4 月より全国赤十字技師長・課長宛に年度初頭の会員調査を実施し、総会までに新年度の新入会会員（予定者）・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。
- (2) 組織調査と同時に、第 54 回日本赤十字社医学総会の発表者の把握を目的に発表者に関する調査を行い、結果を学術部へ報告した。
- (3) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い本会会員動向の把握に努めた。
- (4) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査を行った。
- (5) 平成 31 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、総会のあり方に関するアンケート調査を実施し、結果を 7 月にホームページに掲載した。
- (6) 平成 31 年 10 月より昨年実施したベンチマーク調査に対するアンケート調査を実施し、結果を令和 2 年 1 月にホームページに掲載した。

12. 表彰部報告

- (1) 平成29年度理事会にて、平成30年功労賞（表彰規程2条1）被表彰者29名、奨励賞（同2条2）個人の部・被表彰者2名、施設の部・4施設を決定した。
- (2) 令和元年5月31日第66回定期総会にて表彰式を執り行った。
- (3) 令和元年9月2日から令和元年12月27日にかけて、令和2年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

13. ブロック活動報告

(1) 北海道ブロック

1. 平成 31 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議

日 時：平成 31 年 5 月 11 日（土） 13：00 分～17：30 分

場 所：日本赤十字社北海道支部 看護大学サテライト室（日本赤十字社北海道支部内）

出席者：10 施設 10 名

2. 第 29 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

日 時：令和 元年 10 月 6 日（土）～7 日（日）

会 場：富士フイルム札幌ビル 札幌市中央区大通り西 6 丁目 1

参加規模：9 施設 23 名

研修概要：

①一般演題 7 演題

骨塩（2 題）、超音波（1 題）、マンモ（3 題）、被ばく低減（1 題）

②特別講演：「災害医療概論」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部 及川 林

③グループワーク：「災害時の診療放射線技師の役割と現状」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部 及川 林

④総会

⑤技術情報交流：「医療法改正における各施設の対応の現状」

各施設の報告

⑥メーカー講演：「被ばく管理システムの紹介」2 題

・IT ソリューション事業部 開発部商品企画グループ 五十嵐 昭人 様

・株式会社ジェイマックスシステム 営業部営業推進グループ 箱石 卓 様

⑦会員講演 「今なぜ線量管理が必要か? その対策。」

旭川赤十字病院 医療技術部 放射線技師長 増田 安彦

(2) 東北ブロック

1. 令和元年度 東北ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 9 月 28 日（土） 13：00 ～13：30

会 場：盛岡赤十字病院

出席者：6 施設 7 名

2. 令和元年度 東北ブロック業務研修会

日 程：令和元年 9 月 28(土) 13：00 ～ 17：00

会 場：盛岡赤十字病院 2 F 記念講堂

当番病院：盛岡赤十字病院

参加規模：6 施設 38 名

研修概要：

① 会長講演「日本赤十字社診療放射線技師会のこれからの活動

ー日本赤十字社の一員としてグループで取り組むー」

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

② 特別講演Ⅰ「日本赤十字社と当会の災害医療支援部活動」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部理事 松井 久男

③ 特別講演Ⅱ「診療放射線技師の国際貢献」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部委員 嶋田 祐子

④ 教育講演Ⅰ 「被ばく線量管理ソフト Radmetrics」

バイエル株式会社

⑤ 教育講演Ⅱ 「被ばく線量管理ソフト AMDS」 アゼモトメディカル株式会社

⑥ シンポジウム 「これからの被ばく線量管理についてー現状と課題」

八戸赤十字病院	松倉 裕次
秋田赤十字病院	田口 浩
盛岡赤十字病院	大山 浩貴
仙台赤十字病院	鈴木 陽
石巻赤十字病院	今野 基之
福島赤十字病院	佐藤 勝行

(3) 東部ブロック

1. 平成 31 年度 第 1 回 東部ブロック施設代表者会議

日 時：平成 31 年 4 月 26 日

会 場：さいたま赤十字病院

出席者：17 施設

2. 令和元年度 第 2 回 東部ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 11 月 9 日

会 場：足利赤十字病院

出席者：20 施設

3. 第 31 回東部ブロック業務研修会・平成 30 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議

日 程：令和元年 11 月 9 日（土）10 日（日）

会 場：足利赤十字病院 講堂

当番病院：足利赤十字病院

参加規模：20 施設 93 名（他ブロック施設含）

研修概要：

①一般演題 15 演題

②会長講演

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

③特別企画

「診療放射線技師のための症例検討会」

足利赤十字病院放射線診断科 部長 潮田 隆一 先生

④災害支援部講演

「原子力災害時の行政の体制と救護活動における診療放射線技師の役割」

長浜赤十字病院 松井 久男

⑤技術講演

「単純X線撮影で実現する胸部動態解析技術」

コニカミノルタヘルスケア営業推進部X線営業部山口 晃史 先生

⑥テーブルディスカッション

「中堅職員及び業務担当別グループワーク」

リーダーファシリテーター 長瀬 光臣

(4) 中部ブロック

1. 第 10 回中部ブロック業務研修会

日 程：令和元年 9 月 7(土)13：00～8 日(日)12：30

会 場：静岡赤十字病院 2 号館 4 階 第 1 会議室・第 2 会議室

当番病院：静岡赤十字病院

出席者：中部ブロック 15 施設 56 名（含 安彦会長）

研修概要：

⑦ 会長講演

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

⑧ 特別講演 「認知症に強くなろう」

静岡赤十字病院脳神経内科部長 小西 高志 先生

⑨ 特別講演 「画像診断の功罪---負の側面---

静岡赤十字病院放射線科部長 小林 成司 先生

⑩ 災害医療支援部講演 「診療放射線技師の国際貢献」

大阪赤十字病院 嶋田 祐子

⑪ 分科会（CT・MRI・放射線治療・核医学・一般撮影）

⑫ テーマ発表「医療法施行規則の改正のポイントと線量管理の実例」

名古屋第二赤十字病院 有賀 英司

「今時の線量測定法のご紹介」

名古屋第二赤十字病院 猪岡 由行

「線量最適化システム DoseWatch の導入経験」

安曇野赤十字病院 関 真哉

⑬ 線量管理ソフトメーカー講演

GE・富士フイルム・シーメンス・アゼモト

2. 令和元年度 6 回中部ブロック技師長・責任者会議

日 時：令和元年 11 月 14 日（木）13：00-20：00、15 日（金）9：00-12：30

会 場：名古屋第二赤十字病院およびホテルトラスティー名古屋

テーマ：大規模災害に備える

プログラム

① 院長講演 「チームビルディング」

名古屋第二赤十字病院 佐藤 公治 院長

② 特別講演 「大規模災害に備える」

名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫 教授

③ 施設の取り組み I

岐阜赤十字病院・伊勢赤十字病院

④ 指針策定（各施設の現状）

⑤ 会長講演 「来年度の医療法改正の指針について」

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

⑥ 施設の取り組み II

安曇野赤十字病院

⑦ 総合討論

⑧ 中部ブロック連絡会議

(5) 近畿ブロック

1. 令和元年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 9 月 7 日（土）13：00 から 17：00

会 場：京都第一赤十字病院

出席者：12 施設 13 名

2. 令和元年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

日 程：令和 2 年 2 月 1 日（土）13：20 から 15：30

会 場：ホテル北野プラザ六甲荘「ローズマリー ウェスト」

出席者：12 施設 14 名

3. 第 28 回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会

日 程：令和 2 年 2 月 1 日（土）から 2 日（日）

会 場：ホテル北野プラザ六甲荘「マジョラム」

当番病院：神戸赤十字病院

参加規模：12 施設 76 名

研修概要：

① 開会挨拶

神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 古東 正宣

② 開催施設代表者挨拶

神戸赤十字病院 院長 山下 晴央

③ 会長挨拶

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

④ 主催者挨拶

近畿ブロック理事 藤原 朗

⑤ ランチョンセミナー 「AI 画像再構成技術による高速・高分解能の実現」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社国内営業本部 MR 営業部萩原 友基 先生

⑥ 一般演題 11 演題

⑦ 特別講演「腰椎立位 PA 半切撮影の有用性」

学校法人大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校

診療放射線技師学科専任教員 安藤 英次 先生

⑧ ディスカッション「実症例から学ぶ救急患者の画像読影補助」

進行・解説 松田 智史・小川 宗久・宮安 孝行（神戸赤十字病院病院）

⑨ 教育講演

「救命医療における大動脈解離の画像診断～急性期合併症から血管内治療まで」

神戸災害医療センター 放射線科 副部長 木下 めぐ美先生

⑩ 次回開催施設挨拶

京都第一赤十字病院 放射線科 技師長 加藤 良美

⑪ 閉会挨拶

神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 古東 正宣

(6) 中四国ブロック

1. 平成 31 年度中国・四国ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 11 月 2 日（土） 13：30～13：50

会 場：高知赤十字病院 4F 会議室

出席者：12 施設 14 名（会長、常任理事含）

2. 平成 31 年度中国・四国ブロック業務研修会

日 程：令和元年 11 月 2 日（土）～3 日（日）

会 場：高知赤十字病院 4 階ホール

当番病院：高知赤十字病院

参加規模：13 施設 53 名（他ブロック施設含）

研修概要：

① 会長講演

『-日本赤十字社の一員としてグループで取り組む-』

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

② 災害救護特別講演

講演 1『新築移転した高知赤十字病院における、南海トラフ地震対策』

高知赤十字病院 救急部副部長 山崎 浩史

講演 2『大規模災害時における放射線科の対応』

高知赤十字病院 高橋 健次郎

講演 3『看護師の視点から見た、災害時と戦傷外科の画像検査』

高知赤十字病院 救急救命センター看護師 丁野 美智

③ 災害医療支援部講演

『国際救援活動における診療放射線技師の役割と現状』

災害医療支援部 口井 信孝

④ 会員研究発表（一般演題 10 演題）

⑤ メーカー講演

1. 『線量管理の動向と被ばく線量管理システム DOSE MANAGER について』

富士フイルムメディカル株式会社 IT ソリューション事業部開発部 五十嵐 昭人 様

2. 『求められる品質管理/求めるべきツール』

アクロバイオ株式会社 芳忠 寿一 様

⑥ 施設見学（希望者のみ）

(7) 九州ブロック

1. 令和元年度九州ブロック施設代表者会議

日 時：令和 2 年 1 月 11 日（土） 16：30～17：10

会 場：日本赤十字社熊本健康管理センター 南館

出席者：9 施設 12 名

※安彦会長、口井技師長（和歌山医療センター）も参加

2. 第 20 回九州ブロック業務研修会

日 程：令和 2 年 1 月 11(土)～12 日(日)

会 場：日本赤十字社熊本健康管理センター 南館 5 階ホール

当番病院：日本赤十字社熊本健康管理センター

参加規模：9 施設 58 名

研修概要：

①開会挨拶

担当施設 熊本健康管理センター 長野 勝廣

②教育講演『国際救援活動よもやま話』

日本赤十字社診療放射線技師会災害医療支援部 口井 信孝

③腰痛体操

日本赤十字社熊本健康管理センター 運動指導士 下川 詩季子 先生

④会長講演

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

⑤一般演題

⑥メーカー講演『診療用放射線の安全管理に係る医療法施行規則改正について』

千代田テクノル アイソトープ・医療機器事業本部 工藤 輝 先生

⑦特別講演

『思い込みのワナ～認知とパーソナリティーが人間関係に影響を及ぼす』

放送大学 熊本学習センター 客員准教授 河添 博幸 先生

令和元年度決算報告

1. 令和元年度学術定期総会収支報告

特別会計

令和元年 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会 収支報告書

期間 : 自 令和元年5月31日 (金)

至 令和元年6月 1日 (土)

会場 : 東京国際フォーラム

【収入の部】

金額 (円)

項目	決算額	備考
参加登録費	1,112,000	8,000円×139名
会員情報交換会参加費	224,000	2,000円×112名
協賛企業情報交換会参加費	150,000	10,000円×15名
学術総会助成金	64,362	一般会計より
計	1,550,362	

【支出の部】

金額 (円)

項目	決算額	備考
会場費	398,472	東京国際フォーラムD-5、備品使用料含
情報交換会費	644,271	東京国際フォーラムG-7
運営費	353,800	ランチョンセミナー (会員お弁当代)
招聘費	41,660	講師宿泊・交通費
講師謝金	44,548	
学術発表賞費	15,000	副賞
会議費	6,000	座長謝礼1,000円×6名
諸経費	1,296	備品
雑費	45,315	郵送費等
計	1,550,362	

(セミナー企業の支払い分75万円を除く)

2. 令和元年度一般会計決算報告書

令和元年度一般会計決算報告書

2020年3月31日現在 金額(円)

収 入 の 部				
科目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	増減	備考
会費	4,689,000	4,773,000	84,000	3,000×1,591名
入会金	98,000	75,000	△ 23,000	1,000×75名
HP広告収入	1,300,000	1,050,000	△ 250,000	広告協賛
雑収入	2,000	14	△ 1,986	
前年度繰越金	1,055,082	1,055,082	0	
合計	7,144,082	6,953,096	△ 190,986	

支 出 の 部				
科目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	増減	備考
総会費	110,000	58,360	△ 51,640	総会運営費
会議費	2,150,000	2,057,186	△ 92,814	全国理事会、常任理事会費
役員活動費	122,500	119,000	△ 3,500	3,500×34名
ブロック活動費	1,400,000	1,400,000	0	7ブロック
渉外費(旅費)	400,000	348,204	△ 51,796	
表彰費	370,000	339,872	△ 30,128	賞状副賞・活動費
学術部費	10,000	6,940	△ 3,060	活動費
専門部費	30,000	0	△ 30,000	活動費
財務部費	50,000	43,576	△ 6,424	活動費
組織調査部費	10,000	0	△ 10,000	活動費
広報部費	40,000	22,620	△ 17,380	活動費
IT推進部費	40,000	16,538	△ 23,462	活動費
災害医療支援部費	500,000	477,135	△ 22,865	活動費
事務局費	300,000	78,757	△ 221,243	活動費・慶弔費
学術総会助成金	58,000	64,362	6,362	
HP管理運営費	500,000	514,200	14,200	構築サーバー利用費、会誌更新費
基金積立費	100,000	100,000	0	積立て基金へ繰り出し
予備費	953,582	0	△ 953,582	
合計	7,144,082	5,646,750	△ 1,497,332	

(収入6,953,096－支出5,646,750＝残金1,306,346)

残金 1,306,346 円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財務部 長瀬 光臣

3. 令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会
特別積立基金決算報告書

2020年3月31日現在

科目	金額	備考
前年度繰越金	950,667	
定期預金利息	83	令和元年度分
令和元年度積立金	100,000	一般会計より繰り入れ
合計	1,050,750	

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

4. 令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP 特別積立基金決算報告書

令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会
HP特別積立基金決算報告書

2020年3月31日現在

科目	金額	備考
前年度繰越金	2,000,321	
定期預金利息	172	令和元年度分
合計	2,000,493	

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

監査報告書

日本赤十字社診療放射線技師会会則第 15 条、26 条及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規約第 7 条に基づき、令和 2 年 3 月 4 日～3 月 27 日までの期間にて財務担当理事等の関係役員収支報告書類を、令和元年度の監査をメール会議にて実施しました。

1. 総括

令和元年度は、役員新体制にて多くの事業を遂行されました。その中で、特に学術総会を初めて地方（大阪）にて開催予定されました。このことは、各ブロック業務研修会での会長講演や災害支援部そして専門部活動などの顔の見える関係構築の賜物と考えます。これらのことを更に進めるために、第二回施設代表者会議が令和 3 年 1 月 16 日・17 日に開催される予定となっています。世界が経験しえない新型コロナウイルスにより多くの予定実施が不可能となりました。これから如何なる災害が発生することが予想されます。日本赤十字社診療放射線技師会会員との絆をより一層深めて行かれることと思います。本会の運営が遂行されましたことに心より感謝申し上げます。

2. 事業

令和元年度事業は、専門部（治療）の活動が目覚しく本社医療事業部と各施設のご協力により講習会および研修会が開催されました。これには多くの会員の皆様が参加されました。近年、放射線障害防止法、医療法施行規則の規定改正が行われ各医療機関の大幅な変革期が開始となりました。また、新型コロナウイルスのパンデミックによる国内が混乱となり今尚、カオス状態です。これは新たな災害が我々の業務に付け加えられたことを意味します。大規模災害に感染災害が加えられ新たな対応を行うためにも、今まで以上に本社と連携しながら事業展開していただきたいと思います。次年度も引き続き赤十字事業の発展に寄与し、会員相互の親睦を図り目的達成に必要な事業活動を行ってもらいたいと共に会員諸氏も活動へのご理解を賜りたいと存じます。

3. 会計

会長、副会長、財務担当理事の関係役員立会の下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されていることを確認いたしました。

令和 2 年 4 月 3 日

日本赤十字社診療放射線技師会 監事

磯田 康範 

日本赤十字社診療放射線技師会 監事

戸口 豊弘 

【第二号議案】令和 2 年度事業計画案

総括

新型コロナウイルスの国内で確認された感染者数は、2020 年 3 月末の時点でクルーズ船の乗船者を除いて 2000 人を超えている。日本国内ではまだパンデミック状態ではないが、依然として感染拡大の危険性は高く予断の許さない状況が続いているだけでなく、終息宣言の時期が全く予測できないのが現状である。東京や大阪などの大都市圏では、クラスターが複数発生すると、あっという間にオーバーシュート状態となり、欧米で起きている医療崩壊が起きることが指摘されている。今後の感染者数の増加数によっては、感染症指定病院以外の病院でも感染患者の受け入れを求められる可能性もあるだろう。

各施設とも、院内感染対策をしながら通常診療を行うのに精いっぱいと思われるが、日赤グループ病院の経営改善は急務であり、日赤本社も今後人件費抑制など様々な対策をグループ全体の財務状況を改善する目的で計画するだろう。こういった中、本会も昨年度に引き続き本社が計画している放射線機器の共同購入に協力を行っていきたいと考えている。また、本年 4 月医療法施行規則の改正が施行され、医療放射線の安全管理が各施設に義務付けられた。本会では、各施設が行っている医療被曝の管理・記録体制について、施設代表者会議等で情報交換を行っていきたいと考えている。

本年度は、6 月 12 日（金）13 日（土）にメルパルク大阪で初めて東京以外で学術総会を開催する他、例年同様、各ブロックの研修会、専門部の活動、ホームページを利用した活動が主たるものとなっている。学術総会は、メインテーマを「災害・救急医療を考える」とし開催を予定している。全国 7 ブロックで開催を予定している研修会では、各ブロックとも工夫した企画を計画しており、施設間の情報共有も含めて活発な活動になると期待している。専門部の活動は、主にホームページを利用した情報発信が主なものとなっているが、災害支援部や各専門部の研修会開催などをサポートしていきたい。また、チーム医療については、昨年度に引き続き学術総会で各施設の取り組みの紹介を行う他、本社が開催しているチーム医療の推進に関する検討部会の事業に協力していく予定である。

また、本年度は第 2 回施設代表者会議を 2021 年 1 月 16 日（土）17 日（日）に本社で開催を予定しており、医療放射線の安全管理の運用や教育体制等について情報交換を行う予定である。

新型コロナウイルスの影響で、学術総会や研修会等の開催が予定通りに実施できない可能性があるが、連年通り適宜にホームページ上で情報発信を行うと共に会の運営状況についてもお伝えしながら活動を行う予定である。本会の活動は、会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともより一層のご協力をお願いしたい。

以上、2020 年度事業計画案の総括とする。

各部事業家計画案

1. 総務部活動計画案

(1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第 67 回定期総会

令和 2 年学術総会を令和 2 年 6 月 12 日（金）、6 月 13 日（土）の 2 日間にわたってメルパルク大阪カンナレで開催。第 67 回定期総会は令和 2 年 6 月 12 日（金）同会場で、また同日に情報交換会を、同ホテルのラ・シェノウにて開催する。

来年の学術総会の開催会場については、東京国際フォーラムでの開催を予定している。

(2) 令和 2 年学術定期総会予算案

令和元年度理事会において、令和 2 年学術定期総会予算案が審議され全会一致で可決された。それについては第五号議案の項、特別会計にて報告する。

(3) 令和 2 年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会

常任理事会を 3 回および理事会を 1 回開催し、各部の活動報告および検討事項については審議を行う。その内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会を、管理メーリングリストまた Web で開催する。

- 第 1 回常任理事会 令和 2 年 7 月初旬 Web 会議
- 第 2 回常任理事会 令和 2 年 11 月 20 日（金）高知赤十字病院
- 第 3 回常任理事会 令和 3 年 1 月 17 日（日）日赤本社別館 PMO 会議室
- 理事会 令和 3 年 4 月初旬 日赤本社
- 臨時常任理事会 必要時に Web またはメール会議を開催

(4) 第 2 回施設代表者会議および意見交換会

第 1 回施設代表者会議の開催アンケート結果を基に、2 年毎に開催する事となった。会議の検討事項やプログラム等について常任理事会で検討する。

- 令和 3 年 1 月 16 日（土）・17 日（日）日赤本社別館 PMO 会議室

(5) 日赤本社医療安全対策部会

診療放射線技師の立場で参加し、他職種と日赤医療安全全体の事柄について協議する。

- 第 1 回医療安全対策部会
令和 2 年 6 月開催予定 日赤本社
- 第 2 回医療安全対策部会
令和 2 年 12 月開催予定 日赤本社

2. 福利厚生

会員に祝電の申請をしていただけるように広報していく。

3. 学術部活動計画案

(1) 令和2年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催

令和 2 年 6 月 12 日（金）・13 日（土）の 2 日間、ホテルメルパルク大阪にて開催予定である。テーマは「災害・救急医療を考える」とし、主な内容は本社講演、学術講演、教育講演、会員研究発表等を予定している。

4. 専門部活動計画案

(1) 各専門部活動計画案

1. 放射線治療専門部

- ①会員 SNS 利用促進を進め、会員間の情報交換および専門部からの情報発信を行う。
- ②学術総会やブロック大会に積極的に参画し、専門部より広報活動を行う。
- ③放射線関連学会と協力し会員に有益な情報を発信する。
- ④障害防止法改正に係る放射線障害予防規程変更の提出などの手続きなどのサポートを継続して行う。
- ⑤治療専門部会主催の研修会の開催
- ⑥放射線治療における品質管理体制強化のサポートおよび品質管理業務に従事する医学物理士などの職種への待遇改善を働きかける

2. MRI 専門部

- ①2019 年度実施のアンケートの回答数が伸び悩んでいるため、実施期間を延長して回答数を増やし、結果集計を行いたい。（こちらに目を通された方の施設で、回答されていない場合は、ぜひ回答をよろしくお願い致します。）
- ②可能であれば頭部以外の部位についてもアンケートの作成を行っていく。

3. 核医学専門部

- ①核医学診療施設入退出時の管理区域用（RI 専用）スリッパ等の履き替えの見直し。

4. 乳房専門部

- ①（開催要請があれば）マンモグラフィポジショニング研修会の開催。

5. CT 専門部

- ①CT 担当者メーリングリストの継続更新
- ②DRL s 2020 の日赤グループデータのアンケート調査実施
- ③CT 部門交流会の企画
- ④CT 業務に関する質問対応

6. 医療情報専門部

- ①放射線管理システムの導入・運用に関する情報発信

- ②医療情報に関する情報発信
- ③情報交換体制の確立
- ④システムマップのメンテナンス

5. 災害医療支援部活動計画案

- (1) ブロック研修会での講演（継続事業）
各ブロック研修会からの要請に応じて災害医療に関する講演を継続して行う。
- (2) 募集型診療放射線技師向け救護班研修の開催
国内災害が多くみられる昨今、自ブロックで生じた災害に対応できる技師の育成が必要である。各施設のキーパーソンとなる技師の養成を行うべく募集型の救護班研修会を開催する。
- (3) 国内災害時の災害用照射録作成
日本赤十字社として、統一した照射録を運用できるように検討する。
- (4) 国内災害発生時の放射線業務への受援体制構築
ベンチマークを活用しながら、施設間の情報を共有し、自施設が被災した際の受援体制を構築していく為の啓発を行う。
- (5) メーカーとの災害協定
国内災害発生時における可搬型 X 線装置の借用について、メーカーと協議を進め協定が結べるよう活動する。

6. 広報部活動計画案

- (1). 電子会誌 12 号の作成

【会誌内容】

- ①特集テーマ 未定
- ②施設紹介 未定（2～3 施設）
- ③技師長最終年総括
- ④チーム医療の取組
- ⑤本会の動き
 - ・令和 2 年度 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会
 - ・令和 2 年度 日本赤十字社診療放射線技師会定期総会 議事録
 - ・各ブロック業務研修会報告
 - ・専門部活動報告

7. IT 推進部活動計画案

- (1) ホームページの変更および更新作業。
 - ①会員登録・退会申請作業。

②会員 SNS のメーリングリスト整備。

③会員 SNS の共有ホルダー整理。

画面構成の維持管理作業。

(2) ML の更新作業。

(3) 2021 年のホームページ契約更新に伴い、次期ホームページの見直しと準備。

8. チーム医療活動計画案

(1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、チーム医療活動報告を実施する。

(2) 令和 2 年度チーム医療の推進に関する研修会に出席する。

(3) 日本赤十字社チーム医療の推進に関するガイドライン第 2 版を、施設の放射線部門においても共有できるよう、ホームページ等を活用する。

(4) ガイドライン第 2 版に則した各施設のチーム医療の活動を、全国の施設間で共有、展開を推進すべく、ホームページ等を活用し紹介する。

9. 教育部活動計画案

(1) 提示していただいた教育プログラムを、分類、整理、集約等行い、汎用性のある形式のプログラムを作成し情報発信する。

10. 組織調査部活動計画案

(1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。

(2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。

(3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。

(4) 令和 2 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。

(5) 令和 2 年度ベンチマーク調査を実施する。

(6) 第 2 回施設代表者会議にて、施設代表者会議に関するアンケート調査を実施する。

11. 表彰部活動計画案

(1) 日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。

会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

12. ブロック活動計画案

(1) 北海道ブロック

1. 令和 2 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議
日 時：令和 2 年 5 月 9 日（土）
場 所：日本赤十字社 北海道支部 看護大学サテライト室
2. 日本赤十字社診療放射線技師学術総会へ会長並びに会員派遣予定
日 時：令和 2 年 6 月 12 日（金）～6 月 13 日（土）
場 所：大阪府 ホテルメルパルク大阪
3. 第 30 回総会並びに業務研修会
日 時：令和 2 年 10 月 3 日（土）～4 日（日）
場 所：日本赤十字社北海道支部内会議室

(2) 東北ブロック

1. 令和 2 年度 東北ブロック施設代表者会議
日 時：令和 2 年 10 月 開催予定
会 場：盛岡赤十字病院
2. 令和 2 年度 東北ブロック業務研修会
日 時：令和 2 年 9 月 開催予定
当番病院：盛岡赤十字病院

(3) 東部ブロック

1. 令和 2 年度第 1 回東部ブロック施設代表者会議
日 時：令和 2 年 4 月 24 日（金）
会 場：さいたま赤十字病院
2. 第 33 回東部ブロック業務研修会・令和 2 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議
日 時：令和 2 年 11 月頃
当番病院：前橋赤十字病院・原町赤十字病院
会 場：前橋赤十字病院
研修内容：中堅技師を対象としたプログラムを実施予定

(4) 中部ブロック

1. 第 11 回中部ブロック業務研修会
日 時：令和 2 年 9 月 12 日（土）13：00～13 日（日）13：00 開催予定
当番病院：諏訪赤十字病院

会 場：RAKO 華乃井ホテル

内 容：未定

2. 令和 2 年度第 7 回中部ブロック施設代表者会議

日 時：令和 2 年 11 月 12 日（木）～11 月 12 日（金）開催予定

会 場：1 日目 名古屋第一赤十字病院

2 日目 ホテルホテルサンルートプラザ名古屋

内 容：未定

(5) 近畿ブロック

1. 令和 2 年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：開催日未定 （9 月ごろ予定）

会 場：京都第二赤十字病院

2. 第 29 回近畿ブロック業務研修会・令和 2 年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：開催日未定 （2 月ごろ予定）

当番病院：京都第一赤十字病院

(6) 中四国ブロック

1. 令和 2 年度中国・四国ブロック施設代表者会議

日 時：未定

会 場：山口赤十字病院

2. 第 10 回中国・四国ブロック業務研修会

日 時：未定

当番病院：山口赤十字病院

(7) 九州ブロック

1. 令和 2 年度九州ブロック施設代表者会議

日 時：令和 2 年 9 月下旬開催予定（業務研修会時）

会 場：福岡赤十字病院

2. 第 21 回九州ブロック業務研修会

日 程：令和 2 年 9 月下旬開催予定

会 場：福岡赤十字病院

当番病院：嘉麻赤十字病院・今津赤十字病院・鹿児島赤十字病院

令和2年度予算案

1. 令和2年学術定期総会予算（案）

特別会計

令和2年 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会 収支予算案

期間：自 令和2年6月12日（金）

至 令和2年6月13日（土）

会場：メルパルク大阪

【収入の部】

金額（円）

項目	予算額	備考
参加登録費	1,040,000	8,000円×130名
会員情報交換会参加費	230,000	2,000円×115名
協賛企業情報交換会参加費	150,000	10,000円×15名
計	1,420,000	

【支出の部】

金額（円）

項目	予算額	備考
会場費	74,480	メルパルク大阪カナーレ、備品使用料含
情報交換会費	769,120	メルパルク大阪カナーレ
運営費	312,000	ランチョンセミナー（会員お弁当代）
招聘費	70,000	講師宿泊・交通費
講師謝金	100,000	
学術発表賞費	20,000	副賞
会議費	5,000	座長謝礼1,000円×5名
諸経費	19,400	備品
雑費	50,000	郵送費等
計	1,420,000	

（セミナー企業の支払い予定分75万円を除く）

2. 令和 2 年度予算（案）

令和2年度一般会計予算（案）

金額（円）

収 入 の 部				
科目	令和元年度予算額	令和2年度予算案	増減	備考
会費	4,689,000	4,833,000	144,000	3,000×1,611名
入会金	98,000	90,000	△ 8,000	1,000×90名
HP広告収入	1,300,000	1,150,000	△ 150,000	広告協賛
雑収入	2,000	2,000	0	
前年度繰越金	1,055,082	1,306,346	251,264	
合計	7,144,082	7,381,346	237,264	

支 出 の 部				
科目	令和元年度予算額	令和2年度予算案	増減	備考
総会費	110,000	100,000	△ 10,000	総会運営費
会議費	2,150,000	2,150,000	0	常任理事会, 施設代表者会議
役員活動費	122,500	0	△ 122,500	
ブロック活動費	1,400,000	1,400,000	0	200,000×7ブロック
渉外費(旅費)	400,000	450,000	50,000	本社、ブロック関連、その他
表彰費	370,000	270,000	△ 100,000	賞状副賞・活動費
学術部費	10,000	10,000	0	活動費
専門部費	30,000	30,000	0	活動費
財務部費	50,000	50,000	0	活動費
組織調査部費	10,000	10,000	0	活動費
広報部費	40,000	40,000	0	活動費
IT 推進部費	40,000	40,000	0	活動費
災害医療支援部費	500,000	500,000	0	活動費
事務局費	300,000	300,000	0	活動費・慶弔費
学術総会助成金	58,000	0	△ 58,000	学術総会運営費の不足分
HP管理運営費	500,000	520,000	20,000	サーバー利用費、年間保守
基金積立費	100,000	100,000	0	
予備費	953,582	1,411,346	457,764	
合計	7,144,082	7,381,346	237,264	

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 令和2年度予算（案）を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財 務 部 長 瀬 光 臣